

ペタンク



【人 数】

トリプルス(3人対3人)が基本。持ちボールは一人2個
ダブルス(2人対2人)持ちボールは一人3個
シングル(1人対1人)持ちボールは一人3個

【ゲームの進め方】

- (1) じゃんけんで先行、後攻を決める。
- (2) 先攻チームから一人がスタート地点となるサークルを描き、その中から、ビュットを6~10m投げる。
ビュットの位置が6~10m外の際は再度やり直し。
- (3) 続いて第1投目のボールをできるだけビュットの近くに止まるように投げる。
- (4) 次に後攻チームが、第1球目を投げる。
- (5) 両チームがそれぞれ1球ずつ投げた後で、どちらのボールがビュットに近いかを見る。この時、ビュットに近いほうがポイントを取っている。
- (6) ポイントのとれていないチームは自分のチームのボールがビュットに一番近くなるまで投げなければならない。
- (7) こうしてポイントを取っているチームは休み、ポイントのないチームがボールを投げる。
- (8) このようにポイントを取り合いながらゲームを続け、両チームとも投げ終わったときに1メーヌ(セット)が終了し、得点を数える。
- (9) 得点の数は、相手チームのどのボールよりもビュットに近い自分のチームのボールがあるとき、その近いボールの数の分だけ得点になる。
- (10) 勝ったチームはビュットのある位置にサークルを描き、第2メーヌ(セット)を開始する。
- (11) 何回かメーヌ(セット)を繰り返し、13点を先取したチームが勝ちとなる。

~ ゲーム進行例 ~

- (1) 2チームに分かれ、第1球目をどちらのチームが投げるかを定める。
- (2) 先に投げるチームの一人が、ボールを投げる場所を決め、35~50cmの円を足下に描き、そこからビュット(直径約3cmの標的、別名コショネ)を6~10mの距離に投げる。
- (3) 先に投げることになったチーム(Aチームとする)の第1投者が、ビュットにできるだけ近づくようにボールを投げる。
- (4) 後投げになったチーム(Bチーム)が、Aチームよりさらにビュットに近くなるように投球する(先に投げられたボールをはじき飛ばしてもいい)。お互いに第1投を終了した時点で、ビュットに遠いチームが第2投目を行う。仮にBチームの方が遠かったとすると、Bチームが投げることになる。
- (5) もし2投目終了後、依然としてAチームのボールの方がビュットに近いのならば、続けてBチームは投球(第3投目)を行う。
- (6) Bチームのボールが、Aチームのボールよりビュットに近づけば、その時点でAチームが投げ始めるが、Bチームの持ちボールがなくなっても依然としてAチームのボールが近ければ、Bチームが全てのボールを投げ終わった時点で、Aチームは残りのボールを全て投げる。

